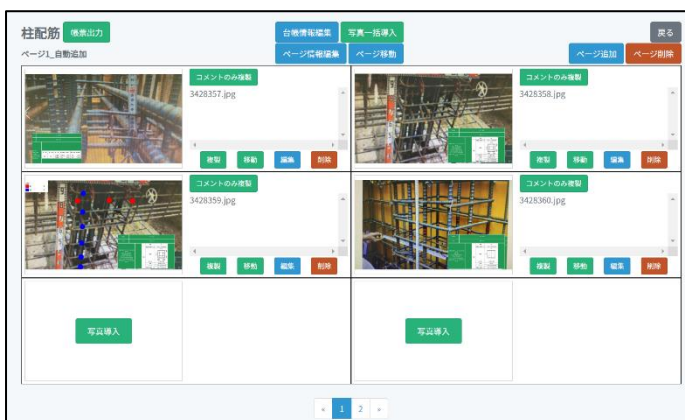
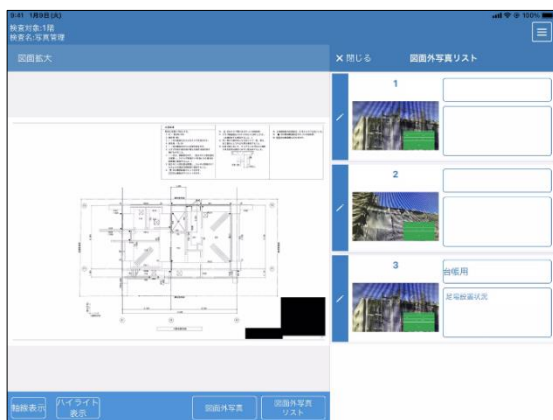




2024年5月14日
株式会社アドバンスト・メディア

建設現場における工事写真業務のDXをAI技術で実現 建設工事全般の写真管理アプリ「AmiVoice® 写真TORUZO」販売開始 ～配筋検査に特化した「電子マーカー機能」を新搭載。ハイライト表示機能も拡充～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）は、建設現場における工事写真の撮影・管理業務を大幅に効率化する建設工事全般の写真管理アプリ「AmiVoice 写真TORUZO（トルゾー）」を、2024年5月27日（月）に販売開始します。

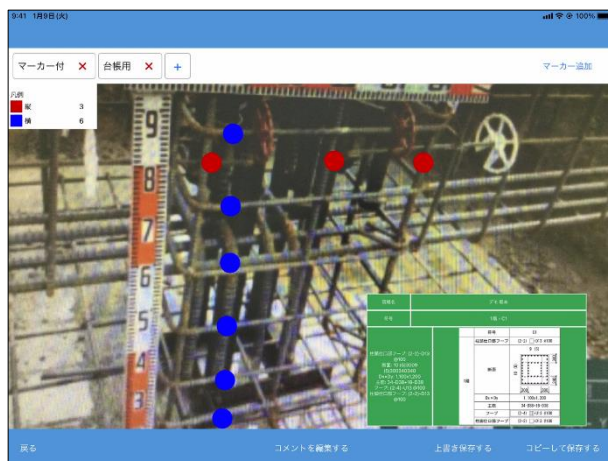


左図「工事写真全般撮影」 右図「台帳成画面」

「AmiVoice 写真TORUZO」は、画像認識・文字認識・音声認識を活用し、配筋写真撮影の事前準備を省力化するアプリとして提供していた「AmiVoice 配筋TORUZO」に新機能を搭載し、建設工事全般の写真の撮影や整理にかかる時間を大幅に削減するアプリとしてリリースします。

今回、搭載する新機能により、工事全般に必要な写真の撮影や管理などがタブレット端末から簡単に行えるようになりました。施工状態、進捗状況や工事過程などの撮影や記録を行う「施工状況管理写真」、現場で使う建築材料の管理のために撮影する「材料受け入れ写真」、現場の安全を確保するために必要な「安全書類」に添付する写真など、自由な位置または図面上に図示する必要なく電子黒板付きで撮影が可能になりました。さらに、写真へのタグ付け機能や検索機能など、写真整理に欠かせない機能を搭載し、直感的な操作で工事写真台帳を作成することができます。

また、配筋検査において、鉄筋が図面通り配筋されているか、配筋の本数などを分かりやすくするための目印として、鉄筋に直接つけるマグネットを電子化した「電子マーカー機能」を搭載しました。撮影した配筋写真をタップするだけで、ナンバリングされた電子マーカーを画像上の配筋に張り付けることが可能です。これにより、マグネットを持ち歩かず撮影ができ、配筋にマグネットを貼り付ける・回収する手間が解消され、配筋検査の効率化を実現します。



「マーカ機能」

さらに、配筋写真の撮影状況を一覧で見える化し、撮影漏れを防止するため伏図上に写真撮影が必要な箇所をハイライト表示する機能についても、より便利にご利用いただけるよう改善しました。

従来は、配筋が入り組んだ部位について、伏図上でハイライト表示が重なってしまい撮影したい部位の表示が上手くタップできず、撮影がしにくいという課題がありました。そこで「柱」や「大梁」といった部位ごとに絞り込み検索を行える機能を追加しました。絞り込みをした部位のみが抽出されることでハイライト表示の重なりを解消し、配筋を撮影する際タップしやすいように改良しています。



左図「筋種類の絞り込み表示」 右図「中央/端部などの選択画面」

また、梁など同一の符号に対し「端部」「中央」など符号図が複数存在する場合、伏図上にハイライト表示された箇所と、複数存在する符号図の紐づけを簡単に行える「分岐選択機能」を新たに搭載し、写真付きの電子黒板の生成が素早く行えるようになりました。

アドバンスト・メディアでは、人が AI 技術により能力を高める AISH (AI Super Humanizing) の実現を目指し、今後も AI 音声認識 AmiVoice と人がコラボレーションしたサービスの提供に力を入れてまいります。

【「AmiVoice 写真 TORUZO」の特長】

1. 建設工事全般の写真撮影・整理にかかる時間を大幅に削減

従来提供していた「配筋写真管理」のほか、「施工状況管理写真」「材料受け入れ写真」「安全書類用写真」など、建設工事全般の写真撮影が可能になりました。さらに、写真へのタグ付け機能や検索機能など、写真整理に欠かせない機能を搭載し、直感的な操作で工事写真台帳を作成することが可能です。

2. 電子マーカー機能搭載で配筋検査を効率化

鉄筋が図面通り配筋されているか、配筋のピッチなどを分かりやすくするための目印として、鉄筋に直接つけるマグネットを電子化した「電子マーカー機能」を搭載。電子マーカーは画面上をタップするだけで設置することが可能です。建設現場でマグネットを取り付け、回収する手間を省くことができます。マグネットを回収し忘れることにより、異物として残ってしまう危険性がなくなり、施工品質の向上も期待されます。

3. 配筋写真の撮影状況をハイライト表示で見える化。絞込検索や分岐選択も可能

配筋写真の撮影状況をハイライト表示し、一覧で見える化。「柱」や「大梁」といった部位ごとに絞込を行える「絞込検索機能」により、配筋が入り組んだ箇所でのハイライト表示も重なることなく、撮影したい部位をスムーズにタップできます。

また、「分岐選択機能」により、図面上にハイライト表示された箇所と、複数存在する符号図を簡単に紐づけることができ、写真付きの電子黒板の生成を素早く実施できます。



F612		
X2軸	中央	X3軸
6 4 6	6 2 4 6	6 6 3 2 6 6
950x3, 100		
6-D38	8-D38	15-D38
10-D38	10-D38	14-D38
6-D13 #200		
18-D13		

4. 画像認識・文字認識・音声認識で配筋写真を省力化

「配筋写真管理」では、画像認識・文字認識を活用し、PDF化した符号図リストから符号図を1つずつAIが切り出し、電子黒板の生成を自動化。また、音声認識を用いた音声コマンド撮影機能や、現場での撮影漏れを防止する各種機能、電子黒板情報・配筋写真・伏図の一括帳票出力機能などを搭載しており、配筋写真管理の各工程をワンストップで効率化します。

製品サイト：<https://amivoice-super.com/toruzo/>

販売価格：基本利用料（20GB）：月額 3,300 円（税込）、ストレージ追加 5GB：1,100 円（税込）

1 ライセンス：月額 550 円（税込）

※ストレージサービスのみのご契約はできません。

【会社概要】 <株式会社アドバンスト・メディア>

代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
本 社 : 東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 42F
U R L : <https://www.advanced-media.co.jp/>
設 立 : 1997年12月
資 本 金 : 69億3031万円 (18,392,724株) (2023年9月末現在)
事 業 内 容 : ◆AmiVoice を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoice を組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へ AmiVoice をサービス利用の形で提供する「サービス事業」

1997年に設立。Interactive Systems, Inc. (米国) と日本語音声認識 AmiVoice を共同で開発し事業化。2005年には、音声認識専門の企業として初の東京証券取引所マザーズ市場 (現: グロース市場) に上場し、音声認識事業で日本で初めて通年ベースで黒字化を達成しています。

「HCI (Human Communication Integration) の実現」をビジョンに掲げ、人が機械に自然に意思を伝えられる「ソフトコミュニケーションの時代」を拓くべく、音声認識ソフトウェア・クラウドサービス市場シェア No.1 (出典: ecarlate 「音声認識市場動向 2024」) の音声認識 AmiVoice を主軸にした事業を展開。会議、医療、コールセンター、建設・不動産、物流・製造などの領域特化型エンジンとして、幅広いシーンで活用されています。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営推進本部 広報チーム ・ E-mail : press@advanced-media.co.jp ・ TEL : 03-5958-1307	BDC 本部 ・ E-mail : bdc-info@advanced-media.co.jp